

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会  
**平成27年度事業報告書**  
(平成27年4月1日より平成28年3月31日まで)

## I 公益目的事業

### 1、クラシック音楽普及事業（定款第4条第1号関係）

(1) こども青少年クラシック音楽普及プロジェクト（Y-Classic）〈フェスティバルの開催〉

[旧 JAPAN CLASSIC FESTIVAL]

クラシック音楽の普及に向けて青少年をコンサートに招待する事業「JAPAN CLASSIC FESTIVAL 2014」をリニューアルし、子どもと一緒に親子がクラシック音楽に親しむ為の普及事業「Y-Classic 子ども青少年クラシック音楽普及事業」を開催した。

現在のコンサート市場を支えている主要な世代はシニア世代であることを踏まえ、次世代を担う子どもを中心とした青少年に対して、親子でクラシック音楽に親しんでいただける為に、会員各社の主催・開催する公演に加え全国で展開されている子どもや親子向けのコンサートを集め、広告知を行い、クラシック音楽が持つライブ感、新しい魅力を発見できるような機会の充実を目指す普及活動を行った。

名 称 Y-Classic（子ども青少年クラシック音楽普及事業）

会 期 2015年7月21日～2016年3月31日

テーマ 「未来を担う子どもたちへ」

開催地 全国

参加公演数：84公演

(2) JAPAN CLASSIC NAVI 〈ホームページの運営管理〉

「JAPAN CLASSIC NAVI」の運営については、クラシック音楽の普及に係わる団体・事業者・教育機関及びクラシック音楽のファンを対象に最新の情報を提供している。尚、課題となっているアーティスト・ホール等のデータベース化についてはガイドブックとの互換性について課題があるため、ガイドブックのリニューアル等の時期に併せて検討を継続している。

### 2、音楽関連人材育成事業（定款第4条第1号関係）

(1) クラシック音楽に関する人材育成として会員向けの研修会を開催する他、会員幹部間の人材養成の一環として経営懇談会を実施した。

※会員研修会 テーマ「指定管理者制度の現状と今後の展望～クラシック音楽事業の展開に向けて」

日 時 平成28年3月1日（火）15時00分～18時00分

会 場 FORUM8 1104会議室 [渋谷区]

参加者 協会会員社 計17名

ゲスト 草加淑也（空間創造研究所 代表）

篠原慎一（サントリーパブリシティサービス エグゼクティブ・マネージャー）

コーディネート 入山功一（協会副会長/（株）AMATI 代表取締役社長）

内 容 指定管理者制度が導入されて約10年、クラシック音楽の普及に向けた取り組みには、どのような企画が求められているのか、制度運用の課題と共に事業者としての係わり方について認識を深めた。

※経営懇談会

第1回 テーマ「マイナンバー制度に向けた各社の対応について」

日 時 平成27年9月14日（月）16時00分～18時00分

会 場 協会事務局 会議室

参加者 協会会員社 計10名

内 容 10月より通知がはじまるマイナンバーについて、取り扱い方法や実務に関する情報を共有し来年1月の運用に向けて業界の対応方法に関する理解を深めた。

第2回 テーマ「クラシックファンをどう拡大するか?～宣伝の現状と費用対効果」

日 時 平成27年11月16日(火) 16時30分～18時30分

会 場 協会事務局 会議室

参加者 協会会員社 計12名

内 容 新規の顧客開拓に向けて、どのような広報が効果的なのか、現状の広報の在り方について意見交換を行うと共に、現状の課題等について議論を深めた。

第3回 テーマ「業界スタッフの就労環境について～その環境と待遇

～より優秀なスタッフを迎える為に」

日 時 平成28年2月5日(金) 16時00分～18時00分

会 場 協会事務局 会議室

参加者 協会会員社 計9名

内 容 業界で働く職員の就労環境について、休暇の取り扱いや給与・昇給体系等について意見交換を行い、より良い人材を迎える為の環境整備に向けた議論を行った。

第4回 テーマ「宣伝の現状と費用対効果～新たなるクラシックファンの獲得に向けて」

日 時 平成28年3月29日(火) 16時30分～18時30分

会 場 協会事務局 会議室

参加者 協会会員社 計9名

内 容 広報宣伝に関する第2回目のテーマでもあることから、鑑賞者側の団体のゲストを迎え、効果的な広報のツールや、求められているコンサート企画等について意見交換を行った。

## II 公益事業

### 1、アーティスト連携事業 (定款第4条第1号関係)

#### (1) 地域創造連携事業

■公共ホール音楽活性化事業(主催:一般財団法人地域創造)に協力して、全国の公共ホールに於けるクラシック音楽の普及と地域音楽文化の活性化を促進する為、同財団からの受託事業として登録演奏家のプレゼンテーションの実施を受託した。

※平成27年度公共ホール音楽活性化事業(全国14ホールで実施)

岩手県宮古市、山形県南陽市、宮城県加美町、福島県白河市、東京都町田市、富山県高岡市、静岡県川根本町、静岡県裾野市、滋賀県長浜市、広島県呉市、山口県山口市、山口県下関市、佐賀県白石町、長崎県時津町

※平成26・27年度登録アーティストによるプレゼンテーション

7人(組)の登録アーティストによるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。  
平成27年4月14日(火) /会場: HAKUJU HALL(代々木)

■公共ホール音楽活性化支援事業(主催:一般財団法人地域創造)

標記事業は、公共ホール音楽活性化事業のフォローアップメニューとして、制作協力体勢を整え、プレゼンテーションを開催するとともに、平成27年度は全国21ホールで実施した。

※登録アーティストによるプレゼンテーション

全87人(組)の登録アーティストのうち、59人(組)によるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。

平成27年8月4日(月)・5日(火)・6日(水) /会場: 東京芸術劇場 B2F リハーサル室

■公共ホール音楽活性化支援・文化庁連携モデル事業

公共ホール音楽活性化支援事業の継続モデル事業として、今年度より開催。以下の自治体に会員社を

通じてアーティストの派遣協力を行った。

全4地域（東京都狛江市、長野県上田市、岐阜県山県市、沖縄県南城市）

- 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業（都道府県等との共催により、親しみのあるクラシック演奏会と、アウトリーチ手法に関する研修会を開催する事業）の岐阜県公演についてアーティスト派遣に関するマネジメント業務を実施するほか、平成28年度広島県セッションの実施に向けた派遣アーティスト（アンサンブル）の選考会を行った。

※岐阜セッション（岐阜県、飛騨市、美濃加茂市、関市、岐南町、下呂市、東白川村）

派遣アーティスト ピアノトリオ Linon、グランツ弦楽四重奏団、Franc 木管五重奏団

※広島セッション派遣アーティスト選考会（事業の実施は平成28年度）

【第一次選考会（音源・書類審査）】平成28年2月2日（火）／会場：地域創造会議室

【第二次選考会（実技・面接審査）】平成28年3月3日（木）／会場：昭和音楽大学ユリホール

## 2、情報収集発信事業（定款第4条第1号関係）

### (1) クラシック音楽事業ガイドの発刊に向けた編集作業と広報誌の発刊

クラシック音楽事業ガイド（隔年発刊）は、2015年6月1日に発刊後、次回の発刊は2017年6月の発刊を目指し、情報の収集作業等を行っている。

広報誌「ポンプ&クラシックス!」については年間四回季刊として発行すると共に、以下の日時にて年間4回の編集会議を行った。又発行部数は各号500部とし、会員を始め官庁及び関係団体にも配布し、協会活動の広報の役割を担っている。

広報誌「ポンプ&クラシックス!」 発行人:関田正幸 / 編集人:徳永英樹

第8号=5月末発行、第9号=7月末発行、第10号=10月末発行、第11号=1月末発行

編集会議 4月23日、6月25日、10月7日、1月8日

又、広報誌と連携し、協会からのメールニュース配信についても月次配信の定期ニュースの他、事業関係官庁関係や関係団体の情報等リアルタイムな情報発信を行っている。

### (2) 検定制度の導入の事前調査として昨年初開催した公開講座については、今年度は以下の期日に開催した。尚、既存テキストの利活用と共に、社会に対してどの程度の需要が見込まれるか等についての検証を行なうべく、今後の継続の在り方についても引き続き検討している。

又、開催準備委員会を開催した。

第1回委員会 平成27年11月13日（金）16:00~18:00 協会事務局

※第2回クラシック・コンサート制作 基礎講座~クラシック・コンサートの舞台裏 すべて見せます!!

期 日 平成28年3月12日（土）13:00~18:00 / 3月13日（日）09:30~18:00

会 場 昭和音楽大学北校舎 ラ・サーラ・スカラ

参加者 50名（社会人・一般37人、学生13人）

受講料 学生¥5,000、一般¥9,000（2日間・消費税込）\*テキスト代別途

登壇講師（50音順）石田麻子 [昭和音楽大学 教授]、乾 美宇 [ジャパン・アーツ 海外事業部長]

入山功一 [AMATI 代表取締役]、小川典子 [ピアニスト]、桑原浩 [日本オーケストラ連盟 常務理事・事務局長]、中井孝栄 [インタースペース 代表取締役]、林 伸光 [兵庫県立芸術文化センター ゼネラルマネージャー]、吉田純子 [朝日新聞社 編集委員]

協 力：公益社団法人日本オーケストラ連盟

後 援：日本音楽芸術マネジメント学会、(公社)日本芸能実演家団体協議会、(公社)日本演奏連盟  
上野学園大学、大阪音楽大学、国立音楽大学、神戸女学院大学、尚美学園大学、昭和音楽大学、東京音楽大学、東京藝術大学、東邦音楽大学、名古屋音楽大学、名古屋芸術大学、フェリス学院大学、武庫川女子大学、武蔵野音楽大学

### (3) 共同広報事業

協会のスケールメリットを活かした会員の協同広告事業については、朝日新聞音楽情報欄への掲載については、平成 26 年度以降の掲載が無いため、新たな広報ツールの開拓や SNS 等を利活用した新たな広報宣伝の在り方等について経営懇談会等で協議を続けている。

### 3、音楽文化振興事業（定款第 4 条第 2 項関係）

#### (1) 文化芸術振興フォーラム

当協会が参加する文化芸術推進フォーラムは、文化芸術振興議員連盟（会長河村建夫元文科大臣）と共に文化芸術の振興を国家戦略の基本に位置づけるべく、文化芸術立国の実現に向けて「文化省」の創設を求めるシンポジウムを開催した。又、文化予算増額に関する要望や、実演芸術振興施策に向けた取り組みを行う他、冊子「文化芸術」を定期発刊している。

※シンポジウム「実演芸術、劇場、映画の創造基盤をつくる」

2015 年 10 月 8 日（木）16:00～18:00 衆議院第二議員会館 多目的会議室

※シンポジウム「文化省創設への道筋」

2015 年 11 月 12 日（木）17:00～19:00 東京美術倶楽部

又、東京五輪に向け首都圏の劇場、ホールが不足する深刻な問題 [いわゆる 2016 年問題] に対し、日本芸能実演家団体協議会を中心に関係団体と連携して、芸術分野ごとの状況に対応した高度な実演芸術基盤の再構築を求める要望を行うと共に記者会見を実施して社会にアピールを行った。

※劇場・ホール 2016 年問題・記者発表

2015 年 11 月 5 日（木）芸能花伝舎 A 1

#### (2) 音楽芸術マネジメント学会（マネジメント検定制度の連携研究）

日本音楽芸術マネジメント学会が開催する、平成 27 年度は第 7 回夏の研究会 [2015 年 7 月 11 日（土）於：東京芸術大学音楽学部]、第 8 回冬の研究大会 [2015 年 11 月 17 日（土）於：昭和音楽大学南校舎] を応援する他、協会主催の公開講座第 2 回「クラシック・コンサート制作 基礎講座～クラシック・コンサートの舞台裏 すべて見せます!!」の開催を通じて協力関係を構築している。

### 4、国際交流事業（定款第 4 条第 2 項関係）

(1) F A C P（アジア文化芸術交流促進連盟）2015、第 33 回年次総会 [韓国] の開催にあたり、協会から茂田雅美理事（FACP 会長）はじめ関田正幸会長、下八川共祐副会長等が参加した。

※第 33 回 F A C P 2015 年次総会 in 韓国

会期 2015 年 8 月 19 日（水）～8 月 22 日（土）

会場 韓国ソウル Chungmu Art Hall

主催 F A C P（Federation for Asian Cultural Promotion）

### 5、企業イベント制作事業（定款第 4 条第 3 項関係）

#### (1) 宝くじ文化事業

宝くじドリーム館 プレミアムクラシックコンサートの制作

クラシック音楽を通じて宝くじの販売促進及び普及宣伝に向けたランチタイムコンサートを、東京・京橋にある宝くじドリーム館で年間 11 回、大阪・難波にある宝くじドリーム館で年間 11 回開催し、近隣の地域住民や来館される宝くじファンとのコンサートを通じたクラシック音楽普及活動を行なった。尚、東京の全 11 回の合計来場者数は約 4000 人。又、大阪の全 11 回の合計来場者数は約 3000 人。

※東京宝くじドリーム館ランチタイムコンサートの開催

Vol.1 平成 27 年 4 月 15 日（水）正午～ 出演：金子三勇士（Pf）

Vol.2 平成 27 年 5 月 20 日（水）正午～ 出演：長谷部一郎&松尾俊介（Vc&Gt）

Vol, 3	平成 27 年 6 月 17 日 (水) 正午～	出演:小林厚子 (Sop)
Vol, 4	平成 27 年 7 月 15 日 (水) 正午～	出演:岩間丈正 (Fl)
Vol, 5	平成 27 年 9 月 16 日 (水) 正午～	出演:宮本妥子&中川賢一 (Mar&Pf)
Vol, 6	平成 27 年 10 月 21 日 (水) 正午～	出演:大森潤子&白石光隆 (Vn&Pf)
Vol, 7	平成 27 年 11 月 18 日 (水) 正午～	出演:奈良希愛 (Pf)
Vol, 8	平成 27 年 12 月 16 日 (水) 正午～	出演:田中靖人&荒川洋&新居由佳梨 (Cl&Fl&Pf)
Vol, 9	平成 28 年 1 月 20 日 (水) 正午～	出演:Duo Yamaguchi (Vc&Pf)
Vol, 10	平成 28 年 2 月 17 日 (水) 正午～	出演:中鉢聡&浜まゆみ&大熊理津子 (Ten&Mar)
Vol, 11	平成 28 年 3 月 7 日 (月) 正午～	出演:佐渡裕 (Cond) & 中鉢聡 & スーパーキッズオケストラ

※大阪宝くじドリーム館ランチタイムコンサートの開催

Vol, 1	平成 27 年 4 月 16 日 (木) 16:00～	出演:羽山晃生 (Ten)
Vol, 2	平成 27 年 5 月 21 日 (木) 12:00～	出演:海野幹雄 (Vc)
Vol, 3	平成 27 年 6 月 18 日 (木) 16:00～	出演:高橋多佳子 (Pf)
Vol, 4	平成 27 年 7 月 16 日 (木) 12:00～	出演:永井由比 (Fl)
Vol, 5	平成 27 年 9 月 17 日 (木) 16:00～	出演:渡邊史 (Sop)
Vol, 6	平成 27 年 10 月 22 日 (木) 12:00～	出演:大熊野津子 (Mar)
Vol, 7	平成 27 年 11 月 19 日 (木) 16:00～	出演:Buzz Five (Brass Quintet)
Vol, 8	平成 27 年 12 月 17 日 (木) 12:00～	出演:小野明子 (Vn)
Vol, 9	平成 28 年 1 月 21 日 (木) 16:00～	出演:福島青衣子 (Hp)
Vol, 10	平成 28 年 2 月 18 日 (木) 12:00～	出演:大石将紀 (Sax)
Vol, 11	平成 28 年 3 月 17 日 (木) 16:00～	出演:高橋多佳子&渡邊史&羽山晃生

### Ⅲ 会議等の開催、会員数の状況、その他の概況 (平成 27 年度)

#### 1、会議等の開催

##### ○総会

定時会員総会 5月15日(金)14時00分 東京・新宿区 東京オペラシティ 7F 第4会議室

##### ○理事会

第1回臨時理事会 5月1日(金) 総会提案議案を電磁的方法に沿い決議の省略により理事会決議。

第1回定例理事会 5月15日(金)12時00分 東京・新宿区 東京オペラシティ 7F 第5会議室

第2回定例理事会 10月1日(木)11時30分 東京・目黒区 香港園 大鵬の間

第3回定例理事会 1月15日(金)14時00分 東京・新宿区 東京オペラシティ 7F 第5会議室

第4回定例理事会 3月25日(金)14時00分 東京・霞ヶ関 商工会館 7F D会議室

##### ○四役会 (会長・副会長・専務理事・事務局長)

第1回四役会 4月23日(木)14時00分 東京・品川区 協会事務局 会議室

第2回四役会 9月9日(水)14時00分 東京・品川区 協会事務局 会議室

第3回四役会 1月15日(金)12時00分 東京・新宿区 東京オペラシティ 54F 東天紅

第4回四役会 3月25日(金)12時30分 東京・霞ヶ関 商工会館 8F A会議室

##### ○三役会 (会長・専務理事・事務局長)

第1回三役会 7月9日(木)16時00分 東京・渋谷区 ジェスク音楽文化振興会会議室

第2回三役会 11月24日(火)16時00分 東京・渋谷区 ジェスク音楽文化振興会会議室

##### ○各種委員会

マネジメント部会 [国境を越えた役務の提供に係る消費税の課税の見直しの論点協議]

第1回部会 12月3日(木)15時00分 東京・渋谷区 ジャパン・アーツ 会議室

ホール部会 [クラシック公演に関するインバウンド需要への対応について]

第1回部会 1月12日(火)14時00分 東京・渋谷区 東急文化村 会議室

オペラ部会 [海外の歌劇場との連携制作の表記について、オペラ団体の広報について]

第1回部会 3月10日(木) 10時30分 東京・品川区 協会事務局 会議室

○関西地区連絡協議会 [関西地区会員と協会執行部との意見交換会及び懇親会]

2月22日(月) 14時00分 大阪・北区 ザ・シンフォニーホール 楽屋I

○制度改革小委員会

懸案となっている会員資格と会費の制度改革については、三回の委員会を開催し、制度改革の骨子(方針案)を取り纏め理事会に提案をおこなった。又、制度改革に関係する会員メリットについても委員会で継続的に検討を行っている。

第1回:8月11日(火) 16:00、第2回:9月2日(水) 16:00、第3回:1月8日(金) 16:00

## 2、会員・役員の移動状況報告

平成27年度の会員数

	平成27年4月1日	平成28年4月1日	増減
正会員A	7	6	-1
正会員B	33	33	0
賛助会員	57	55	-2
名誉会員	0	0	0

正会員より賛助会員へ移行=東京労音

退会者:賛助会員=アート・リンクス、名古屋芸術大学、日本合唱協会

平成27年度の役職員数

	平成27年4月1日	平成28年4月1日	増減
理事	17	17	0
監事	2	2	0
顧問	3	3	0
参与	2	2	0
職員	2(役員兼務1名含む)	2(役員兼務1名含む)	0

理事定数14名以上18名以内、監事2名又は3名、顧問・参与各4名以内

## 3、心の復興音楽基金の活動

東日本大震災の被災者支援の一環として設置された「心の復興音楽基金」の活動は、平成27年度の支援事業として6件の事業に総額約1,500,000円の支援を行った。

## 4、クラシック音楽の普及、関係団体との連携・協力に向けた活動

- ・全国中小企業団体中央会、音楽産業文化振興財団、文化芸術推進フォーラムに加盟している。
- ・子ども達と芸術家の出会い街ネットワークの構成団体として活動に参画している。
- ・パシフィックミュージックフェスティバル、仙台国際音楽コンクール、日本音楽芸術マネジメント学会に役員を派遣して活動を推進している。
- ・日本芸能実演家団体協議会による実演芸術団体調査等に役員が出席して意見を述べている。
- ・Music Network Japan(ミュージック ネットワーク ジャパン)に参画し、東京五輪の文化プログラムに賛同した関連文化事業を展開すべく関係団体と協議を重ねている。
- ・プレイガイドによるチケットのリセールサービス導入に対して、興行主催者の観点から、対応委員会を設置し協議を行い、導入の見合せ決議を行い申し入を行った。